

第 15 回高専技術教育研究発表会 in 松江 参加報告

技術第 3 班 志村 良一郎

技術第 1 班 佐藤 真人

目的

本発表会は全国の国立高等専門学校に勤務する技術職員が日常業務で携わっている技術教育研究支援活動や研究活動等について発表及び情報交換し、それらを通して技術職員の資質向上と技術教育の充実を目的とする。

主観校及び期間

松江工業高等専門学校

令和 6 年 2 月 29 日 (木) 13 時

～3 月 1 日 (金) 12 時

開催方式：対面方式

日程

1 日目 (2/29)

13:00- 開会式

13:45-14:30 口頭発表 (1)

14:40-15:25 口頭発表 (2)

15:35-16:20 施設見学

2 日目 (3/1)

9:00-9:45 口頭発表 (3)

10:00-10:40 ポスター発表

10:50-11:35 口頭発表 (4)

11:45- 閉会式

※ 各口頭発表は 3 会場で同時に実施。

発表会の内容について

本会では、奨励研究および共同研究など日々の研究活動や出前講義や体験講座の実施例、教材開発について等の内容で口頭発表が 34 件、ポスター発表が 21 件行われた。限られた時間ではあったが活発

な議論が交わされた。本校からは、佐藤 (真) が民間企業で培った加工技術に関する内容で「平面度を向上させる加工技術について」、志村が本校の研究設備とその活用例の紹介と関連するプロジェクトに関する内容で「研究活動への関わり方と解析装置の活用例について」と題して 2 件の口頭発表を行った。

施設見学について

令和 4 年に完成した実習工場「イノベーション・ハブ・まつえ」の施設見学に参加した。特に機械分野において基礎技術教育から最先端技術教育まで一環した実施環境が整った魅力的な施設であった。本校との差違はあるが最新の設備を見学することが出来て非常にいい刺激になった。



おわりに

本発表会の開催にあたり、準備から運営まで行って頂いた松江高専実践教育支援センターの皆様へ感謝申し上げます。本会を通して得られた経験と情報、つながりを自身の今後の業務や学生指導等に活かしていけるよう努めたい。